



合格者や講師、スタッフらとの集合写真

# 合格者を激励



あいさつする小林俊文学学校長

総合資格学院（岸隆司学院長）の熊本校は9日、平成23年度合格祝賀会を熊本市水道町にある同校で開いた。祝賀会には、23年度に一・二級建築士と宅地建物取引主任者試験に合格した受講生や講師・スタッフが出席したほか、来賓として熊本県建築士事務所協会の小林至専務理事がお祝いに駆けつけた。祝賀会では、熊本校の小林俊文学学校長が「東日本大震災以降、技術者の必要性や重要性が注目されている。資格取得をゴールにするのではなく、ここから羽ばたいて、日本が元気を取り戻すための

合格した受講生や講師・スタッフが出席したほか、来賓として熊本県建築士事務所協会の小林至専務理事がお祝いに駆けつけた。祝賀会では、熊本校の小林俊文学学校長が「東日本大震災以降、技術者の必要性や重要性が注目されている。資格取得をゴールにするのではなく、ここから羽ばたいて、日本が

## 総合資格学院熊本校

### 建築士・宅建合格祝賀会開く

原動力となってほしい」と合格者にエールを送った。小林専務理事は「難関を極める建築士の試験で多くの合格者を輩出できたのは、講師やスタッフの方々のご指導の賜」と述べた上で、「今後の建築業界での活躍を期待している」と激励した。

一級建築士の試験を1回目で合格した矢野めぐみさんは、「辛く大変な一年でしたが、今は将来への期待感でいっぱいです。資格に負けないような人生を歩んでいきたい」とあいさつ。岩村大作さんは「講師やスタッフの方々がメンタル面までサポートして頂いたことが大きな支えとなりました」と話し、念願の資格取得への喜びをかみしめた。

同学院が教室を開講している36都道府県の23年度一級建築士合格者数は4369人。他講習利用者と独学者を除く2259人が同学院の受講生で、占有率51・7%を達成している。